



わかしよ

【学校教育目標】

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

6年生 卒業式おめでとう

これから新しい世界へ飛び立つ卒業生のみなさんに、私から二つのことをお話しさせていただきます。

一つ目は、出会いを大切に感謝の気持ちを忘れないで欲しいということです。

今、みなさんの心には若草小学校での様々な思い出がよみがえっていることでしょう。楽しかったこと、うれしかったこと、辛かったこと、苦しかったこと、振り返ってみると、どの思い出もかけがえのないものであったに違いありません。そして、そこには必ずみなさんを支えてくれたたくさんの人たちがいることを忘れないでほしいのです。人は誰もが自分一人では生きることができません。特にこの卒業式に出席していただいたお父さんお母さん、これまで育ててくれた家族は、どれほどみんなのことを思い、みんなのために尽くしてくれたか、その愛情は表現できないほど深く大切な愛です。

ともに笑いともに苦しみ、六年間をいっしょにすごした仲間たち、親身になり相談に乗ってくれた先生方。皆さんの成長を今日まで見守ってくれたすべての方々に、自分の成長を支えてくれたこの校舎をはじめすべてのものに「感謝」の気持ち「ありがとう」を伝えて下さい。

これからの長い人生においても、人との出会いがその人の生き方を大きく左右することがあります。人と人との絆を大切に、常に感謝の気持ち「ありがとう」を胸に人生を歩んで欲しいと願います。

二つ目は、日々努力し向上心を持つことです。山梨県出身者でノーベル賞受賞者の大村智さんは、「人まねではだめだ。人まねではその人を超えられない」と言っています。小学校では、多くのことが与えられた環境の中での生活でした。中学校に入学すると「自立」が求められます。周りの力を借りずに自分の力で人生を切り開く力を身につけるときです。その中で、何度か人生の岐路、分かれ道に出会います。その時の基準の一つに自分自身を成長させる道を選択して欲しいのです。苦しい道ではあるが自分自身の向上のためにはぜひ自分の意思をしっかりと持ち、苦しくても未来の自分を成長させてくれる道を進んでほしいと思います。

学習の中でも部活動の中でも生徒会活動の中でも、中学校生活を送る中で何度かチャンスが巡ってきます。そのチャンスをつかめるかつかめないかは、日々の努力次第です。一日一日の努力の積み重ねがそのチャンスを大きくします。楽な方へ楽な方へと流されるのではなく、自分自身を磨くための努力を惜しまないでください。未来の自分は今の自分が創ります。諦めたら終わりです。自分を大切に、そして大きな夢を持ち中学校生活を送って欲しいと願います。



学校だより『わかしょう』ご愛読ありがとうございました。

令和4年度が終了します。感染症対策を取り3年目となりました。いくつかの制限はありましたが、今年度はできる限りの中で学校行事を進めてきました。校長として、学校の様子を知っていただきたいという思いから、学校だよりを発行してきました。上手に伝えられているのか少し不安もありますが、お読みいただきありがとうございました。

子供たちの様子を中心に紹介してきたので、校長がカメラを持っていると載せてもらいたいと近寄ってくる子がたくさん増えてきました。子供たちも自分の思いを記事にしてもらい、嬉しそうな笑顔が見られました。また、次の取り組みへの励みにもなっていたことと思います。子供たちの1年間の成長は本当に大きなものがあります。学校や子供たちは保護者や地域の方々からの温かい声掛けが大きな力となります。

令和4年度のご協力に感謝し、引き続き温かい目で学校・子供たちを見守っていただきたいと思ひます。1年間本当にありがとうございました。職員一同、心より感謝いたします。